



2022年を締め「くる」



先日、日本漢字能力検定協会が2022年の世相を漢字1字で表す「今年の漢字」を発表し、今年は「戦」となったそうです。選定理由は、先日まで大盛り上がりだったサッカーW杯の日本代表の熱「戦」や物価高との「戦」いなどありますが、何より2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻の「戦」争ですね。

皆さんは修学旅行で初日に広島を訪れ、第2次世界大「戦」中に起きた悲惨な原爆被害を見学してきました。平和記念資料館に展示されるその当時の遺物は、70年以上経った今でも直視できないほどのインパクトがありました。これこそ次世代に語り継ぐべき世界平和遺産だと改めて感じました。

さて、この「今年の漢字」が毎年発表される場所は分かりますか？そうです。この場所は皆さんの多くが修学旅行3日目タクシー班別行動で訪れた京都「清水寺」の「清水の舞台」です。このニュースが毎年この時期に報道されるたびに「あの修学旅行で行った清水の舞台ね」なんてその場の雰囲気とその時の思い出がよみがえってくることと思います。

私はこの京都タクシー班別行動の時に「龍安寺」を訪れました。この日はとても天気が良かったので、龍安寺の石庭を眺めながら、頭を空っぽにして「極上のひなたぼっこ」をしたことが今回の修学旅行の一番の幸福でした。また、私が修学旅行に食べた食事の中で印象に残ったものは、4日目クラス別行動で5組のみんなと一緒に食べた「ひつまぶし」定食もかなりおいしかったです。USJシティウォーク内のたこ焼きコーナーで買って食べたたこ焼きチェーン「くる」のたこ焼きの味かなあ。 2年次主任 平岩岳実

保護者のみなさまへ

先日実施させていただいた修学旅行につきまして、保護者の皆さまの御理解・御協力により3泊4日の全行程を無事行うことができました。新型コロナ第8波の真ただ中、誰が感染してもおかしくないという状況で、「参加予定者全員で出発し全員で帰着」は叶いませんでしたが、修学旅行中に新型コロナを発症する生徒は出ず、帰着してから旅行中に感染してしまったとの報告もなく、ほっと胸をなでおろしている次第です。

現在、旅行後の会計処理を進めており、各クラス最終日の行動の違いにより返金額に差異が出ますが、日本旅行を通じて返金をさせていただく方向で処理をしております。今しばらくお待ちいただけますようお願いいたします。

1月行事予定にありますが、今年度最後の三者懇談を1月23日から予定しております。修学旅行が終わり、3年0学期と言われるこれ以降の3か月間の過ごし方や、3年生に向けての進路志望など、担任からお話しさせていただきます。質問や相談などがありましたら、事前にご連絡いただくと幸いです。

～1月行事予定～ 勝負の年2023年が始まります！

日	曜日	A/B	予 定	日	曜日	A/B	予 定
1	日		元日	16	月	A	きずなの日 第3回進路希望調査
2	月			17	火	A	
3	火			18	水	A	第5回マナーアップ運動 生徒協議会
4	水			19	木	A	
5	木		冬季休業終了	20	金	A	英検一次試験 春季原付免許取得説明会
6	金	A	休業明け集会 LHR 2校時～平常授業	21	土		課題論文中間発表会
7	土			22	日		
8	日			23	月	B	三者懇談 短縮45分授業
9	月		成人の日	24	火	B	三者懇談 短縮45分授業
10	火	B		25	水	B	三者懇談 短縮45分授業
11	水	B		26	木	B	三者懇談 短縮45分授業
12	木	B		27	金	B	三者懇談 短縮45分授業
13	金	B	ベネッセ総合学カテスト	28	土		
14	土		ベネッセ総合学カテスト 大学入学共通テスト	29	日		
15	日		大学入学共通テスト	30	月	A	三者懇談 短縮45分授業
				31	火	A	大掃除・前期募集選抜検査会場準備 短縮45分授業

◎先生方からの寄稿 今月は4組担任 新海大博先生 と 副担任 大代章子先生 です。

14 番目の月と 343 と、2023 年と。 新海 大博

修学旅行前、私の車で「14 番目の月」という、松任谷由美の曲をスピッツがカバーした歌が流れました。

♪ つぎの夜から 欠ける満月より
14 番目の月が いちばん好き ♪



ビッグイベントやデート前の、ドキドキする前の気持ちを表した名曲です。ぜひ聴いてみてください。

皆さんにとって、修学旅行はこれまでの人生において、最も刺激的な行事の一つだったことでしょうか。でも今後の皆さんは、こんな行事を何度も経験することができます(なんなら卒業してから、気の合う仲間と『大人修学旅行』だって実施可能です)。これからも、楽しいイベント前に感じるドキドキを楽しみながら、毎日をご過ごしたいですね。

ところで修学旅行中、バスガイドさんが、画用紙に数字を書いたクイズを何問か出してくれました。その中で「343」これは何でしょう?というのがありました。答えは「さしみ」だそうです。

ここで 343 を素因数分解すると…なんと 7 の 3 乗ではありませんか! そんな数を問題に出してくれるバスガイドさん。修学旅行中も何だか嬉しくなっちゃいますよね。

楽しみだった修学旅行が終わり、もうすぐ 2022 年も終わりです。2022 年は皆さんにとってどんな年だったでしょうか。私は西高 2 年目で、2年次の先生方や皆さんと楽しく毎日をご過ごすお手伝いを楽しみながらやってきたつもりです。あと1週間で迎える 2023 年は、皆さんにとってどんな年になるでしょうかね。西高最上級生として、部活動も鳳凰祭も勉強も、全力で毎日をご過ごすことと思います。私も全力でサポートしていきたいと思っています。まずは初詣からかな。願掛けしまくるか。

ところで 2023 を素因数分解すると…なんと $7 \times 17 \times 17$ ではありませんか!! 2, 3 で割り切れない所から、7 で割り切れる数字に出会うと嬉しくなっちゃいますよね。そこからの 289 という。今年もお世話になりました。来年もどうぞよろしくお願い致します。

「# 3 年ぶり」

大代章子

「3年ぶり」という言葉のように、西高でも多くの行事が開催されました。その中で担当した芸術鑑賞会について振り返ってみると、皆さんのアンケートや感想文からは、オペラのイメージ…高い声で歌っている、堅いイメージ、正直眠くなりそうといったものが多かったです。しかし終演後は、2階席まで響く歌声やセリフに、今までのイメージが覆され2時間引き込まれた人がたくさんいました。また戦争の内容から、現在の世界情勢に思いを馳せる人も。ネズミの涙は10年前に制作された作品ですが、今年鑑賞しても新たな思いを持たせる作品でした。オペラに限らず自分の思い込みだけで判断せず、色々なことを実際に経験し、考える機会をこれからもつくってほしいと思います。鑑賞会后、こんにやく座の方からこんなメールをいただきました。



生徒さんたちの心のもった感想に、こちら胸が熱くなる思いで読ませて頂きました。コロナ禍で芸術鑑賞がしばらくなかったことと思いますが、やはり生の舞台を観ることで、こんなに心が動いたり、何か考えるきっかけになったりすることがわかり私たちの仕事の意義を改めて感じることもなりました。

生徒みなさんが鑑賞会を通してもらった感想や考えが劇団の方々の原動力にもなったことがとてもうれしく、演じる側と観客が一体となった一日であったと感じることができました。さて、今年も1週間余りで終わろうとしています。年始年末は日常生活から少し離れ、1人でゆっくり自分の将来について考える時間もてるのではないのでしょうか。2023年も元気に頑張りましょう!